

知っておきたい 高齢期の住まい選び

高齢者の一人暮らしや夫婦のみの世帯が増加しています。高齢期になると、自宅に住み続ける、元気なうちに住み替える、介護が必要になってから住み替えるなど様々な選択があります。現在は高齢者向け住宅や施設への入居を希望する方が増えています。しかし、いざ選ぶとなると高齢者向け住宅や施設は種類が多く、契約も複雑でわかりにくいのが現状です。高齢期を安心して過ごせるように、どのような住まいの選び方があるか考えてみましょう。

住み続けたい場合

最後まで自宅に住み続けたい



- 住宅の整備（高齢者用にリフォーム）
段差の解消、手すりの取り付け、車椅子移動のためのスペース確保 等
- 生活・介護支援（介護保険内・外サービス）
近隣で利用できる介護および医療支援体制の事前調査 等

住み替えたい場合

元気なうちに住み替えたい

安心が付いている住宅

介護が必要になっても住み続けられる住まい



- シルバーピア（シルバーハウジング）〈公営住宅〉
- 軽費老人ホーム（ケアハウス）
- 有料老人ホーム（住宅型、介護付、健康型）
- サービス付き高齢者向け住宅

- 軽費老人ホーム（ケアハウス）
- 有料老人ホーム（住宅型、介護付）
- その他
- サービス付き高齢者向け住宅（医療・介護連携型）

介護が必要になったので住み替えたい



- 特別養護老人ホーム
- 老人保健施設
- 認知症高齢者グループホーム
- 介護医療院

※上記は主なものの一例です

特集 知っておきたい 高齢期の住まい選び

- ▶ 目黒区の消費者相談の現状について
- ▶ 夏休み子ども向け企画
キッズCon.チャレンジ

目黒区消費生活センター

相談専用 **03-3711-1140**
月～金曜日 9:30～16:30
上記以外の時間は
消費者ホットライン188



消費生活で困ったときはすぐ相談!

目黒区消費生活センター

